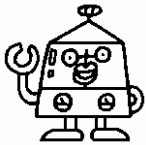


ヘチマとつくりがにている花は、なにがあるの



ヘチマには、お花と、花びらの下の部分がふくらんだめ花があるが、カボチャやキュウリの花も同じつくりだよ。

一つの花の中にめしべ・おしべがある花と、お花とめ花に分かれた花がある
いろいろな花を観察してみると、アブラナのように一つの花の中に、めしべとおしべがそろっているつくりの花と、おしべ、めしべがそれぞれ別な花に分かれているつくりの花があります。

ヘチマの花は、おしべだけがあるお花と、花の下の部分(子ぼう)がふくらんだめしべだけがあるめ花の2種類があります。お花は数個がかたまってくきについて、順に花がさきますが、め花はかならず、1個ずつくきについています。

花粉がめしべについた、め花だけに、実やたねができる

め花のつぼみにふくろをかけ、花粉がつかないようにすると、花はかれて落ちてしまいます。自然のめ花は、みつをすいにきた虫が花粉を運んでくれて、め花の子ぼうがどんどん大きくなり、大きなヘチマの実になります。実の中にはたねがたくさんできて、たねから新しいヘチマが育ち、子孫をふやしていきます。お花は、花粉をわたせば役目は終わって、かれて落ちてしまいます。

キュウリ、カボチャ、ヒョウタン、メロンなどは、ヘチマと同じ花のつくりです。

